

平成30年度

学校自己評価表

学校運営方針		学校運営計画		評価		
昨年度の成果と課題		年度の重点目標		具体的目標		
地域密着型の農業高校として、時代の要請に合致する特色ある農業高校を目指して活動を行っている。「わかる授業」を展開し、教室での他にも多くの実習をとおして専門的な知識や技術を身につけ、コミュニケーション能力を養い、社会生活に必要な責任感や協調性など様々な生きる力を身につけることができるよう支援する。	将来のスペシャリストとして必要な基礎・基本を身につけ、生徒一人一人の進路希望の実現を目指す。	将来のスペシャリストとして必要な専門性の基礎・基本と普通教育を通した確かな学力を身につけさせる。	学習習慣の定着。 授業の充実と学習が遅れがちな生徒への個別指導。	生徒会、農業クラブ活動の活性化。 部活動の活性化。	職場見学とインターンシップの充実。 進路情報の充実と希望進路の実現を図る。 言葉遣いや礼儀、マナー等を身につけさせる。 地域の幼・小・中学校との校種間連携を図る。	
		本校の伝統と規律を重んじ、明るく、たくましく、思いやりがあり、社会の変化に主体的に対応できる人材を育成する。	生徒会、農業クラブ活動の活性化。 部活動の活性化。			
		3年間を見通したキャリア教育を推進し、生徒一人一人の進路希望の実現を支援する。 地域社会や関係機関と連携し、地域産業の発展に貢献できる人材を育成する。	職場見学とインターンシップの充実。 進路情報の充実と希望進路の実現を図る。 言葉遣いや礼儀、マナー等を身につけさせる。 地域の幼・小・中学校との校種間連携を図る。			
重点目標	具体的目標	具体的方策		評価		
きめ細やかな指導体制を整備し、基礎学力の向上と充実をはかる。	高校生として求められる基礎学力の定着や主体的な学習意欲の向上 (教務)	教材研究を実施し、授業内容の充実をはかる。				
		家庭学習の定着のための指導をする。				
		資格取得に向けた取り組みの充実をはかる。				
	教育活動が円滑・効率的に機能するよう取り組み(教務)	授業に対する取り組み方や学習環境の整備改善をはかる。				
		生徒の進路実現を踏まえた教育課程の検討をする。				
		生徒・職員にとってよりよい教育環境の充実をはかる。				
	情報機器などの情報環境の整備とWebによる情報発信を行う。 (教務)	情報機器の保管及び管理、校内LANの運用・管理を行い、円滑な教育活動を支援する。				
		情報リテラシーと情報モラルの向上に努め、情報機器を活用した授業を支援する。				
		学校・家庭・地域の連携に役立つ学校Webページの定期的な更新に努める。				
	読書について啓発し、学習に役立つ図書館利用を指導する。視聴覚教育機器等の環境を整える。 (図書視聴覚)	図書館オリエンテーションを実施するなどして、図書館の適切な利用について指導する。				
図書館だよりを年2回発行する。また、新着案内を定期的に発行する。						
一斉読書を実施し、読書に親しむ機会を増やす。 蔵書充実のため、希望調査を実施するなどして、図書資料の廃棄と更新を進める。						
環境美化を通した生徒指導を行う。(保健防災)	学校行事の放送などを円滑に行えるよう、機器の準備・調整をする。					
	校舎内大清掃を6回、校舎外大清掃を1回実施する。また地域の環境美化を推進し、ボランティアの精神を養う。					
農業実習などを通して、生徒の基本的な生活習慣や責任感や協調性を身につけさせ、望ましい勤労観や職業観を養う。	生徒の基本的な生活習慣の確立や服装の正常化をはかる。(生徒指導)	本校の生徒指導の現状や課題を内容とする「生徒指導通信」を毎学期発行する。				
		問題行動を起こした生徒に対して、保護者と連携して組織的、継続的な指導を行う。				
		朝の挨拶運動を年2回行い、挨拶の励行を重点的に指導する。 服装の基準を示し、高校生としてふさわしい身だしなみを理解させる。				
	行事等を整え、指導体制が円滑に進むようにする。(教務)	生徒が充実した学校生活がおくれるように、年間時間割作成、考査や集会・式典等の行事予定を作成し、円滑化に努め、学校運営の手助けをする。				
		各学年の進路目標に応じた進路行事等の開催と充実をはかる。				
		基礎的・基本的な学力の定着と、書く力(作文・小論文等)及び話す力(面接等)の涵養をはかるべく手立てを講じる。				
	進路情報を充実させる。(進路指導)	生徒の進路指導室および進路資料室の利用・活用を促進する。				
		保護者に対し進路に関する情報提供(進路通信等)を行い、進路行事等への参加を促す。				
		保健指導と健康相談を適宜行う。				
	保健安全管理に努める。(保健防災)	「保健だより」等を年6回発行する。				
生徒・職員の防災意識の向上をめざす。(保健防災)		避難訓練を行い、災害発生時(地震・火災)における基本的な対応を体得させる。				
自己理解、職業理解、学問理解、ライフプランニング等の学習を通して、進路意識を啓発する。						
キャリアプランニング(1学年)	修学旅行や職場体験学習を通して、進路意識の高揚を促す。					
	進路目標に適した課題解決学習を行い、学習内容の発表をする。					
	修学旅行(2学年)					
課題研究(3学年)	進路目標に適した課題解決学習を行い、学習内容の発表をする。					
	「PTA」だよりを年2回発行する。					
	PTA総会や研修会等の参加・活動を促す。					
保護者との共通理解を深め、信頼される学校を目指す。(渉外)	PTA研修会を年2回開催し、本校の教育活動への理解を深めるとともに、会員相互の親睦をはかる。					
	PTA研修会を年2回開催し、本校の教育活動への理解を深めるとともに、会員相互の親睦をはかる。					
	PTA研修会を年2回開催し、本校の教育活動への理解を深めるとともに、会員相互の親睦をはかる。					
農業高校としての特性をアピールし、地域に貢献できる学校づくりを目指す。(洪志会(生徒会))	洪志会が関わる学校行事を通じて生徒間の団結を深める。					
	ボランティア活動を充実させる。 部活動・同好会活動を通じて社会に通用する人格形成をはかり、大会や発表会で成果をあげる。					
	農業クラブへの興味・関心をさらに高める。授業との関連性を深め、生徒が主体的に活動できるようにする。					
成果					総合評価	